

- 「将来像」とは・・・  
→目標年次である2028年度（平成40年度）までに、町民・事業者・行政の連携により様々な施策・事業を行い、目指すべき「町の姿」を指します。
- 「基本理念」とは・・・  
→一般的に「組織がその根本に据える理念や目標、思想のこと。」を指します。総合計画における基本理念とは、町が目指す将来像を考えるうえで、根本に据える理念を指します。
- 「基本方針」とは・・・  
→各分野ごとに、施策・事業に取り組むにあたっての、大きなまちづくりの方向性を指します。基本理念は、これらの基本方針を貫く考え方とも言えます。

## 【将来像】

### キラリやまもと！ みんなの笑顔が輝きつづけるまち

まちづくりの戦略課題: ●「まちの現状」 ●「復興計画における課題」 ●「町民の意向と期待」  
「資料3 第1編 第2～5章」 参照

基本理念  
「資料3 第2編第1章」 参照

基本方針  
「資料3 第2編第3章」 参照

定住を促す町の魅力創出や生活  
利便性の向上が必要

町民一人ひとりが安心して暮らせる生活環境づくりが必要

町民や地域と連携した協働のまちづくりが必要

- 人口減少が進んでおり、町の活力の維持のため、定住促進とその受け皿の確保や、子育て環境の充実による出生数の増加等の、人口維持・増加へつながる取り組みが必要です。
- 沿岸部の農地の大区画化やIoTや人工知能等の技術を取り入れた産業など、産業を取り巻く情勢が変化しています。
- インバウンドを含めた観光交流の拡大、外国人雇用等により、外国人との関わりが増えることが見込まれ、町民の理解や外国語対応などの、受け入れ・共生に向けた体制の構築が必要です。
- 農業や漁業など一次産業をはじめとした、各産業における事業の継承や新規就業による人材育成が課題です。
- 意欲的に学習に取り組める環境づくりなど、教育の質を高める取り組みが必要です。
- 交通や商業・医療の利便性を備えた、コンパクトで環境に優しい、誰もが住みやすいまちづくりの推進が必要です。
- 「雇用の場の確保」や「企業誘致」を求める声が多くあげられています。
- 将来山元町で働きたい中学生は1割程度であり、次世代の若者たちが将来にわたって働きたい・住み続けたいと思えるまちづくりが必要です。

【基本理念1】  
住んでみたい、ずっと住んでいたい  
元気で快適なまちづくり

【基本理念2】  
ともに創造する、  
安全・安心なまちづくり

【基本理念3】  
つながりを大切にする、  
愛と誇りを育むまちづくり

基本方針1  
健やかなくらしを共に支えるまちづくりに取り組みます  
(子育て環境、保健・医療、障がい者福祉、高齢者福祉)

基本方針2  
地域の資源を生かした産業の振興と活力あふれるまちづくりに取り組みます  
(農林水産業、商工業、観光・交流、定住)

基本方針3  
のびのびと学び、夢と志を育むまちづくりに取り組みます  
(学校教育、生涯学習、文化財、スポーツ・レクリエーション)

基本方針4  
快適な生活を支える、コンパクトで安全・安心なまちづくりに取り組みます  
(防災・減災、防犯、交通安全、都市整備、公共交通、上下水道)

基本方針5  
質の高い、持続可能なまちづくりに取り組みます  
(環境保全、廃棄物・循環型社会、地域コミュニティ・協働、行財政運営)